

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

光と影（年中クラス）

＜テーマの設定理由＞

子どもたちが光や影に気づき、興味を持っている姿が見受けられることから、「光と影」をテーマに設定した。

セロファンを用いた製作などを通して、光を当てると色のついた影が生まれる不思議さや、光を投影することで生まれる幻想的な空間の面白さの体験に繋げたいと考えたため。また、暗い空間や明るい空間など、色々な方法で違いを試してみる活動を通じて、子どもたちの探求心を引き出したいと考えたため。

2. 活動スケジュール

10月：身の回りのものを用いた影絵クイズあそび

11月：セロファンを用いたお花の作品製作

12月：セロファンを用いた作品を持って園庭や園舎の中を探検し、色のついた影探し

1月：セロファンで製作した全員の作品を光にかざし大きな布を通して浮き上がらせる光と影の表現あそび

3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・セロファンで製作した全員の作品を投光器を通じて大きな布に浮き上がらせる光と影の表現あそびをしたり、製作物を教室や屋外など色々な空間で観察したりしながら、光と影の性質を探求した。
- ・活動の中で子どもたちは、光との距離によって映る影の大きさが変わることを発見していた。
- ・園庭や園舎を探検する中で、どうしたら色のついた影がうつるのか子どもたちなりに試行錯誤していた。



4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・「どうしてだろう？」「やってみたいな」という気持ちが高まっている時期ということもあり興味を持ち参加する姿がみられた。
- ・光があるから影ができる・・・という仕組みにも感覚的にだが気付く様子が伺えた
- ・光の位置で影の大きさ形が変わるということに子どもたちは気付けた様子だった